

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月 3日

大津市長 殿

提出者

住所 大阪市中央区道修町4-5-17

氏名 株式会社森組 大阪本店
取締役常務執行役員本店長 石井 勝則

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6222-5093

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量
その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社森組 大阪本店
事業場の所在地	大阪市中央区道修町4-5-17 (大津市管轄区域内)
計画期間	2025年4月1日から2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06 建設業/ 総合工事業
② 事業の規模	28,759,282,169円(2024年度完成工事高)
③ 従業員数	327人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙産業廃棄物処理工程のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制表及び管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	排出量		
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・工法の改善(コンクリートガラ, アスファルトガラ, 木材) ・実寸発注の実施(木くず) ・簡易梱包での材料搬入(過剰梱包の防止) ・ユニット化持込(ガラスくず) 			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	排出量		
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・現状維持 			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・可能な限り分別して再資源化をはかっている。 (別添 産業廃棄物の処理工程参照)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		
(これまでに実施した取組) 当社は、運搬・処分共に委託が原則			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		
(今後実施する予定の取組) 当社は、運搬・処分共に委託が原則			
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		
(これまでに実施した取組) 当社は、運搬・処分共に委託が原則			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		
(今後実施する予定の取組) 当社は、運搬・処分共に委託が原則			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行つた産業廃棄物の量		
(これまでに実施した取組)			
①現状 実施していない。			
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		
(今後実施する予定の取組)			
②計画 実施予定なし。			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

	【前年度実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り	
	全処理委託量		
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	認定熱回収業者への処理委託量		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量		
(これまでに実施した取組)			
・委託基準に従つて、産業廃棄物を運搬、処分を依託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 ・再資源化率の高い事業者を選定している。その際、都道府県の優良業者認定を受けている業者及び電子マニフェスト対応業者を優先している。			
①現状			

【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	別紙集計表の通り
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	
(今後実施する予定の取組) ・委託先処理業者には定期的に現地確認を実施する。 ・電子マニフェスト排出管理100%を目指す。		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7  欄及び※欄は記入しないこと。

大津市

産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状(前年度)	2024	年度
計画(今年度)	2025	年度

		計 画									
名 称	現状／計画	A 排出量 (t)	B 自ら再生利用 行った量 (t)	C 自ら熱回収を 行った量 (t)	D 自ら中間処理により 減量した量 (t)	E 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行 った量 (t)	F 産業廃棄物の 全処理委託量 (t)	G 優良認定処理業者 への処理委託量(t)	H 再生利用業者への 処理委託量(t)	I 認定熱回収業者 への処理委託量(t)	J 認定熱回収業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)
産業廃棄物の種類	前年度実績 ／ 今年度の計画	当該事業場にお いて生じた産業廃 棄物の種類ごとの 量	Aの量のうち、 自ら再生利用し た量	Aの量のうち熱 回収を行った量	Aの量のうち、自ら中 間処理により減量し た量	Aの量のうち、自ら 埋立処分又は海洋 投入処分した量	中間処理及び 最終処分を委 託した量	Fの量のうち、優良 認定処理業者への 委託処理量	Fの量のうち、処理業 者への再生利用委託 量(I、J除く)	Fの量のうち、認定熱 回収施設設置者で ある処理業者への焼却 処理委託量	Fの量のうち、認定熱回 収施設設置者以外の熱回 収を行っている 処理業者への焼却処理委託量
廃プラスチック類	現状	101.7					101.7		101.7		
	計画	100					100		100		
紙くず	現状	10.3					10.3		10.3		
	計画	10					10		10		
木くず	現状	1032.1					1032		1032.1		
	計画	1030					1030		1030		
がれき類	現状	1410					1410.0		1410		
	計画	1400					1400		1400		
建設混合廃棄物	現状	22.2					22.2		22.2		
	計画	20					20.0		20		
合計	現状	2576.3	0	0	0	0	2576.2		2576.2	0	0
	計画	2560	0	0	0	0	2560	0	2560	0	0